

令和5年度 富島高等学校（全日制） 学校評価

スローガン「全力 TOMIKO！」 ～ 地域社会と連携し、新時代を形成するために必要な学校教育の実践 ～		【学校関係者評価のポイント】 ・自己評価の項目や指標は適切に設定されているか。 ・自己評価の結果は、指標等をもとにした妥当なものであるか。 ・自己評価の結果を踏まえた成果と改善策は適切であるか。
校訓 教育目標 自立 己の個性を伸ばす 自立 の心を育て、 友愛 信頼と協調により 友愛 を深め、 創造 心豊かな生活を目指して 創造力 を伸ばし、 知・徳・体の調和のとれた人材を育成する。	重点目標 志を持つ生徒育成のために (1) 「頭」を鍛え、伸ばす(個に応じた学力向上と進路実現) (2) 「心」を鍛え、伸ばす(心の教育の推進と充実) (3) 「体」を鍛え、伸ばす(体の育成と食育・健康教育の推	具体的取組 (キーワード) (1) 確かな学力を育む教育の充実 (2) 多様な人材を育む教育の推進 (3) 学習環境の整備 (4) 読書の推進

重点目標	評価項目	学校関係者評価	学校関係者評価・具体的意見
(1) 「頭」を鍛え、伸ばす(個に応じた学力向上と進路実現)	① 学習環境の整備と授業環境の支援を図る	B	○コロナ感染症も収束に向かい通常の学校生活に戻ったことで生徒の心構えを取り戻していく手法として「予鈴」、「自己管理手帳」等を取り入れるなど、昨年度からの継続であるが、続けていくことで生徒たちの学びに対するモチベーションの向上に成功していると思います。 ○予鈴の授業開始2分前や授業参観の実施など、授業を落ち着いた雰囲気で行われるような工夫が良いと思う。生徒の授業に対する入り方や意識が良い方向を向くよう先生方の工夫を色々とお願ひしたい。 ○時間やスケジュール管理は重要なスキルであるので継続して支援して欲しいです。 ●生徒の能力を伸ばす指導と学習の遅れを考慮した指導の具体的な指導内容を保護者側にも分かりやすく伝えていただきたいと思いました。
	② 授業力の向上を図る	B	○教育者としてのスキル向上に向けた姿勢等、教育者としてのプロフェッショナリズムや教育へのコミットメントが感じられます。 ○ICTを活用した効率よい学びが日常的になるよう、また、指導力向上の取り組みを積極的に図り、生徒の学習意欲を上げていただけると嬉しいです。 △先生方には、指導力向上のための取組に力を入れて頂きたいと思っています。そのために、今後研修も積極的に参加して頂きたいと望んでいます。 ●職員研修について、実際にどれくらいの時間行ったのかが分かりづらい。職員理解度の都度把握は必要だと思ひます。伝えるのではなく『伝わる』授業を望みます。
	③ 専門教育の充実	B	○外部との連携を強化し、実践的・体験的な学習を導入するなど、生徒たちに多様な学びの機会を提供している様子が見えます。 ○ICTの活用においても一定の成果があり、教科ごとの個別最適化が進んでいる点も評価できます。 ○専門学校との連携事業やコースごとの外部講師招聘、校外学習など、専門性を深める取り組みが積極的に行われていることが分かります。また、学年ごとに異なるアプローチで進路意識を高め、学びを発表する機会も設けられていることも良い点だと思ひます。ただし、ICT活用に関する教科内での研修が必要とされており、この点において今後の改善や取り組みが求められているようですが、総じて学校は生徒たちの多様なニーズに対応し、専門性を向上させる方向で良い方針を進めていると思ひます。 ○外部講師を招いての授業や連携など、積極的に取り入れていただくことで、生徒たちも今後の進路や就職に対する視野が広がると思ひます。知らないよりも知っておいた方がいい知識は多々あると思ひるので、この取り組みは効果があると思ひます。また、ICT機器の活用は先生それぞれにバラツキが無いよう、授業運営とは逆に、若手がベテラン先生に対して指導するなど、相互に刺激し合うことも必要かと考えます。 ○外部講師の授業の様子を拝見しました。それぞれのコースで専門家から直接話を聞ける機会は貴重な機会でもありとても良い経験になったと思ひます。 ○サードの取組は、素晴らしい経験と効果があったものと捉えています。今後、ICTをどのように活用していくのか具体的に示して欲しいです。 △まずは、生徒たちが、進路や職業に関して、学習意欲を持ち、将来につなげることが大事であると思ひます。その為、学校の授業で学習機会を増やし、インターンシップなどの取り組みも必要であると考えています。また、地域との連携によって色々な学びもあると思ひます。
	④ 資格取得の推進	B	△資格取得は自信に繋がるだけでなく、実務にも大いに役立つと思われるので力を入れて推進してほしいです。 △資格取得については、成果及び改善策にも記されているように、「検定取得の必要性を説き、個々に応じた目標設定を行う必要がある」との考えに同意いたします。できれば、1年次が良いと考えます。 △検定だけが目的とならないように、個々の生徒たちの成長や学習意欲を重視した指導方針が、学習環境をより良くし、生徒たちの将来に対する準備を助長する一環だと考えます。 △まさに手段が目的にならないように、検定や資格を踏まえた最終的なゴールを生徒が描けるよう、指導をよろしくお願ひいたします。
	⑤ キャリア教育の推進	B	△キャリア教育の取り組みは、生徒が将来進むべき道を考える際に大きな指標となるものだと考えます。外部講師との連携とともに、キャリア教育にも積極的に取り組んでいただき、充実したものにさせていただくことを期待しております。 △まず個人の目標を明確にさせて、そこまでに必要な知識や技術を生徒に合わせながら丁寧な指導をしていただけるとありがたいと思ひます。 △高校生では、社会人になるために自分のキャリア形成に向けて深く学ぶ必要があると思ひます。学力の向上よりも前に、生徒の学ぶ意欲と労働に関心を持つことが必要であると思ひます。 ●総合的には、進路意識の向上と技術的なスキルの獲得において一定の成果を上げつつも、学力向上においては課題が残るといえます。今後は、進路支援と学力向上の両面からのアプローチを強化し、生徒たちが自己成長を遂げられるような環境を整備していくことが重要ではないでしょうか。

重点目標	評価項目	学校関係者評価	評価・具体的意見
(1) 「頭」を鍛え、伸ばす (個に応じた学力向上と進路実現)	⑥ 継続して就業できる社会人の育成	B	<p>○総合的に見て、学校は生徒たちに対して教育以外の側面でも豊かな経験を提供し、社会への参加や奉仕の意識を育てていることがうかがえます。引き続き、各取り組みの充実度を高め、生徒たちがより一層自己成長できる環境を築いていくことを期待しています。</p> <p>○富島高校の生徒はボランティア活動へ積極的に参加する印象があります。地域の祭りやイベントには必ずといっていいほど富島の生徒が活動しています。私たちの団体もかなりお世話になっているのが現状です。本当に感謝しております。担当の先生方もできるだけ地域との連携に関して積極的に取り組まれることを期待しています。</p> <p>○学校による指導成果及び改善策では、概ね達成できているということなので、このことについてはとても嬉しく思っています。このように、ボランティア活動等で多くの生徒たちに地域の方々たちと交流を持ってもらい積極的な地域貢献につなげて欲しいと願っています。それが人材育成としてのキャリア教育だと思います。</p> <p>△就業だけでなく起業することも良いと思うのですが、教育の立場ではそのようなススめは出来ないのでしょうか。多様な時代に合った選択肢を提供していただけたらと思います。就業する場合、挨拶や基本的なマナー等のスキルはしっかりと身に付けさせて欲しいです。</p>
	⑦ ICT教育の推進	A	<p>○ICTに関しては、端末の有無や性能の差による格差みたいなものが発生しないか心配なので、先生も生徒も効果的活用方法について、さらに研究いただくと幸いです。</p> <p>○利用に留まらず、活用についての推進がされていることが良いと思います。ICTの利活用につきましては是非スピード感をもって研鑽や環境整備を行っていただきたいです。</p> <p>○ICT教育のメリットは、生徒の問題解決のスピードやそれによる能力の向上、そして、グローバルな視野が広がることなど、今の時代にはかなり必要とされていることだと思います。ただ、心配なのは、生徒によって、活用できる、できないなどの格差が出てくることです。ICT教育の推進には賛成です。</p> <p>△学校はICTを活用し、デジタル教育に前向きな取り組みを行っていますが、一部で課題が存在していることが伺えます。これらの課題に対処するためには、継続的な研修や更なる意識向上活動が必要だと思われる。</p>
(2) 「心」を鍛え、伸ばす (心の教育の推進と充実)	① 基本的な生活習慣の確立	B	<p>○ウィズコロナの状況下において学校は感染予防対策を重視し、生徒への指導と共に学校全体の雰囲気や生徒の主体的な活動にも注力している様子が見えます。</p> <p>○教室の入り口の両方に消毒があればより良いと思います。挨拶や職員室への入退室時の挨拶も素晴らしいと思います。</p> <p>○現在の富島高校生を見ている限り、ほとんどの生徒が、ある程度の基本的週間が身についていると思われる。特に挨拶は良くできており、気持ちよく接してくれます。これからも、持続して全ての生徒が良い生活習慣で学校生活を過ごせるようになって欲しいです。</p> <p>△ウィズコロナの日常で、集団行動をおくる事は感染拡大のリスクが多々ありますが、その中で、エチケットやマナーなどの生活習慣が身につく工夫を図るようご指導よろしく願いいたします。</p>
	② 持続可能な社会の形成に参画できる教育の推進	A	<p>○総じて、地域社会への貢献、外部連携、学科の特色の活用が学校の発展に寄与しており、引き続きこれらの取り組みを推進することで、学校の地位向上や入学希望者の増加が期待されると思われます。</p> <p>○私の所属する「日向ひよっとこ夏祭り実行委員会」と「謎解きのまちひゅうが実行委員会」では、生徒とコラボして缶バッジ等の商品やポスター・チラシのデザインを作成させていただきました。地域のイベントに積極的に携わることができる学校であると周りにPRしていただくとうれしいです。</p> <p>○メディアで富島高校の活動を拝見する機会もありました。ボランティア活動にも積極的に参加してくれて地域の中での富島高校生の活躍を拝見しました。</p> <p>○ボランティアは自分を成長させるだけでなく、人の役にも立ち自己肯定感も高まると思うので生徒の多くが参加できていることは素晴らしいと思いますし、今後も引き続きバックアップして欲しいです。</p> <p>○「変化を前向きに捉える」できそうでなかなかできないことのように思えます。まずは、自分の気持ちを豊かにすることが大切であると思っています。</p>
	③ 命を大切にす教育の推進	A	<p>○両方の取り組みが学校全体の教育環境を豊かにし、多様性への理解を深める一助となったと言えるでしょう。</p> <p>○身近なネットやSNSからの問題点を高校で学ぶ機会が持てることは素晴らしいと思う。また障がい者との共生社会についても考えるとてもいい機会だったと感じました。</p> <p>○命の大切さの教育は最優先されるべきだと思います。繰り返すことで生徒の理解もより深まることと思います。</p> <p>○命を大切にすということを生徒たちは、周囲からどれだけ理解させられても一人であると不安になることがあります。心理カウンセラーはとても必要であると感じています。</p>
	④ 安全管理の徹底	B	<p>○生徒と職員の安全確保に向けた実践的かつ計画的なアプローチが見られ、これらの取り組みは地域社会においても模範となり得るものと言えます。今後も継続的な改善と新たな対策の導入を検討し、災害に備えた教育環境を一層強化していくことが望ましいと思います。</p> <p>○あらゆる想定で学ぶ機会はとても有効だと思います。また学校の中だけでなく保護者との共有は非常にいい取り組みだと感じました。</p> <p>△様々な想定の前、訓練を重ねていただきたいです。校舎や体育館のこの位置まで津波が来るということが目視確認できるテープを貼るのも効果的ではないでしょうか。海からの距離や津波到着までのおおよその時間等も全生徒が把握しておくことより意識が高まると思います。</p> <p>△先日発生した、能登地震などの災害を目の当たりにすると、防災意識も高まりますが、時間が経った後に、その意識を高いまま保てるかが課題と考えます。</p> <p>△避難訓練は年1回ではなく、回数が増やせることができるのであれば、増やして頂きたいです。もしもの時の心の準備や認識が高まるからです。</p>

※ A：十分達成

B：概ね達成

C：検討の余地あり

D：不十分

重点目標	評価項目	学校関係者評価	評価・具体的意見
(2) 「心」を鍛え、伸ばす (心の教育の推進と充実)	⑤ スクールリーダーの育成	B	<p>○学校内での生徒たちの取組は非常に好意的であり、その成果が学校全体にポジティブな影響を与えていると評価できます。</p> <p>○リーダーシップに関しては、部活動や様々な行事・イベントを通して、実際経験しないと得られない能力であると思います。今後様々な行事を通して、多くの生徒がリーダー育成の場面に出会えることを望みます。</p> <p>△一人も取り残さないようなリーダーシップを育成していただきたいと思います。学校行事の際、一人でお弁当を食べている生徒がいたそうです。</p> <p>△リーダーになるためには、そのための素質が必要ですが、できることであれば一人でも多くの生徒たちにその経験をして個々の能力を引き出して欲しいと思います。</p>
	⑥ 特別支援教育体制の充実	B	<p>○これらの活動により、学校は生徒の心理的な健康や教育に関するニーズに対応し、適切な支援を提供していると思います。また、地域との連携を通じて、総合的なサポート体制を構築している印象があります。</p> <p>○学校生活やこれからの進路など、悩み多い生徒たちをサポートする体制づくりや支援体制の構築がされていると感じました。</p> <p>○外部の機関等との連携が取れることは必要で、とても重要なことだと思います。</p> <p>△生徒が相談しやすい場を設け、生徒に寄り添った教育、また支援を行って頂きたいと思っています。</p>
	⑦ 豊かな心の育成	B	<p>○全体的に、これらの取り組みは学校全体の雰囲気や生徒たちの豊かな心の成長に寄与しているように見えます。引き続き、学校はもとより、地域への貢献も重視した活動を進めていくことで学校への印象度も更に高くなるでしょう。</p> <p>○地域でのイベントに積極的に参加してくれている様子などを拝見していました。このような経験を通して地域に関わり仲間との連携がより強くなる活動は素晴らしいと感じました。</p> <p>○図書室のおススメの本は全て借りてあるのを見たときにとても良い取り組みだと感じました。継続して推進してほしいです。</p> <p>○朝の読書は1日のリズムを整えるのにとても良い取り組みであると思います。できるならこれからも持続してほしい。</p> <p>○富島高校の図書室の雰囲気はとても良く気に入っています。魅力ある図書室づくりに期待しています。</p>
(3) 「体」を鍛え、伸ばす (体の育成と食育・健康教育の推進)	① 健康教育や安全管理の充実	B	<p>○学校全体での健康へのアプローチが継続的かつ包括的に行われており、保健室や教育相談部との連携が強化されている点も評価できます。</p> <p>○生徒の体調管理や精神的なケアも含めて、保健室、クラスや外部の支援体制の連携が重要であると思います。</p> <p>△健康教育は、何か家庭と連携してできることはないかなと思っています。例えば、集会などを利用して、保護者、生徒と一緒に健康について学ぶ機会があればと思います。</p> <p>△すべてを把握するのは難しいですが、言いにくいことでも言えるような環境づくりに妥協はしないで欲しいと思います。</p>
	② 豊かな人間関係を育む	A	<p>○リーダーシップ向上や組織内での協力関係強化など、非常に有益で成果のある取り組みだと思います。</p> <p>○学校生活の中では、家庭では決して学ぶことのできないことを行事や部活動を通して学ぶことができると思っています。それが、人間形成には必要だと思います。</p> <p>△一人ひとりを大切に、誰ひとり取り残さないよう配慮できるリーダー育成をして欲しいです。</p>
	③ 新しい生活様式の推進	B	<p>○ウィズコロナ時代の学校のあり方として、意識付けが出来ていると感じました。</p> <p>○新しい生活様式にもほぼ慣れてきたと思います。あとは、自己管理がとても必要だと思います。</p> <p>△自分と相手を思いやれる心を育ててほしいと思います。繰り返しご指導をお願いいたします。</p> <p>●自分で判断することにはリスクが伴うこともあるので、併せて定期的な情報共有やサポート体制の整備も必要ではないでしょうか。</p>